

【問題提起】第12分科会

## 薬と社会

- ◇運営委員 菊池 環 (JA 長野県厚生連 佐久総合病院)  
瑞慶覧 長海 (沖縄医療生協 沖縄協同病院)  
間 規子 (外苑企画商事 わかば薬局中央店)
- ◇助言者 長南 謙一 (昭和薬科大学 臨床薬学教育センター医薬品情報部門教授)

### 分科会趣旨 問題提起

この分科会「薬と社会」では、薬をとりまく問題や課題、取組みなどを報告し合い、情報を共有して、一緒に話合ってきました。今回も、テーマを持ち寄り、薬をとりまく情勢を、多くの立場の方々と一緒に考えていきたいと願っております。

前回2024年の開催から2年経ちましたが、薬を取り巻く情勢は未だ問題が山積みの感があります。HPVワクチンでは、副反応で苦しむ若い女性等がワクチン被害を訴え、裁判で係争中にもかかわらず、2022年に接種勧奨が再開されました。彼女たちの被害がまるで無かったかのようにされているのを知っていますか。多くの国民が接種した新型コロナワクチン。そのワクチンで重篤な副反応で苦しみながら、その症状を訴えるだけで反ワクチンと誹謗中傷を受けている事実をどう感じるでしょうか？

薬は、それが害する物質にならないように、人間が全人的な目をもって取り扱っていくべき物です。問題があればその危険性を拡大させないようにし、調査し、改善を図っていかねばならない物です。しかし、情報や救済が不十分のまま、被害の実態が無かったかのように、または、問題とすることがはばかれるような、そんな風潮が否めません。なにかとてもこわい思いがします。

この分科会では、薬を取り巻く問題について、知ること、伝えること、疑問などを何でも話せる場になればと思っております。

選定療養保険外割合の増加、市販薬類似医薬品の保険負担見直しの議論が浮上していること、医薬品供給困難、医療現場の労働環境、経営困難、そしていまだ続く薬害問題など、話題は尽きません。この現状をひとりでも多くの方と共有して、問題解決の一助に出来たらと願っています。皆さんの参加をお待ちしております。